

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

# ボーリング柱状図

調査名 ライフル射撃場新築工事地質調査 孔番 No. 16.1 地盤高 \_\_\_\_\_ m

調査場所 宇都宮市新里乙1067 (基準面 \_\_\_\_\_)

地形 \_\_\_\_\_ 摘要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和53年7月 日 ~ 月 日

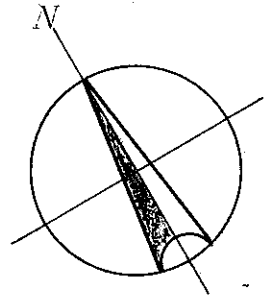
地下(孔内)水位 GL-0.90m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高位置 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
	0.50	0.50	//	盛土														
▽			X	表土	暗灰色		腐植物混る。	1	1/30	1.15 1.45	1							
	2.10	1.60	○	砂礫	茶褐		礫φ5-30%最大100%φ位	2	0.2.2	2.15 2.45	4							
	3.60	0.50	○	砂礫	茶褐			3	1/40	3.15 3.55	1							
			○	礫混り粘土	暗灰色 黒灰		高含水で軟弱である。 φ20%内の混入多い。	4	1.1/20.20	4.15 4.55	2							
			○	礫混り粘土	暗灰色 黒灰			5	1.1/20.20	5.15 5.55	2							
	7.60	5.00	○	砂礫	青緑色		礫φ5-30%程度の混入多い。凝灰質を呈す	6	1.1.1	6.15 6.45	3							
			○	砂礫	青緑色			7	3.1.2	7.15 7.45	6							
	9.60	2.00	○	砂礫	青緑色			8	1.1.1/15.1.5	8.15 8.45	3							
	10.25			岩盤	青白色		凝灰岩	9	3.3.4	9.15 9.45	10							
				岩盤	青白色			10	5.0/7.0	10.15 10.25	50							



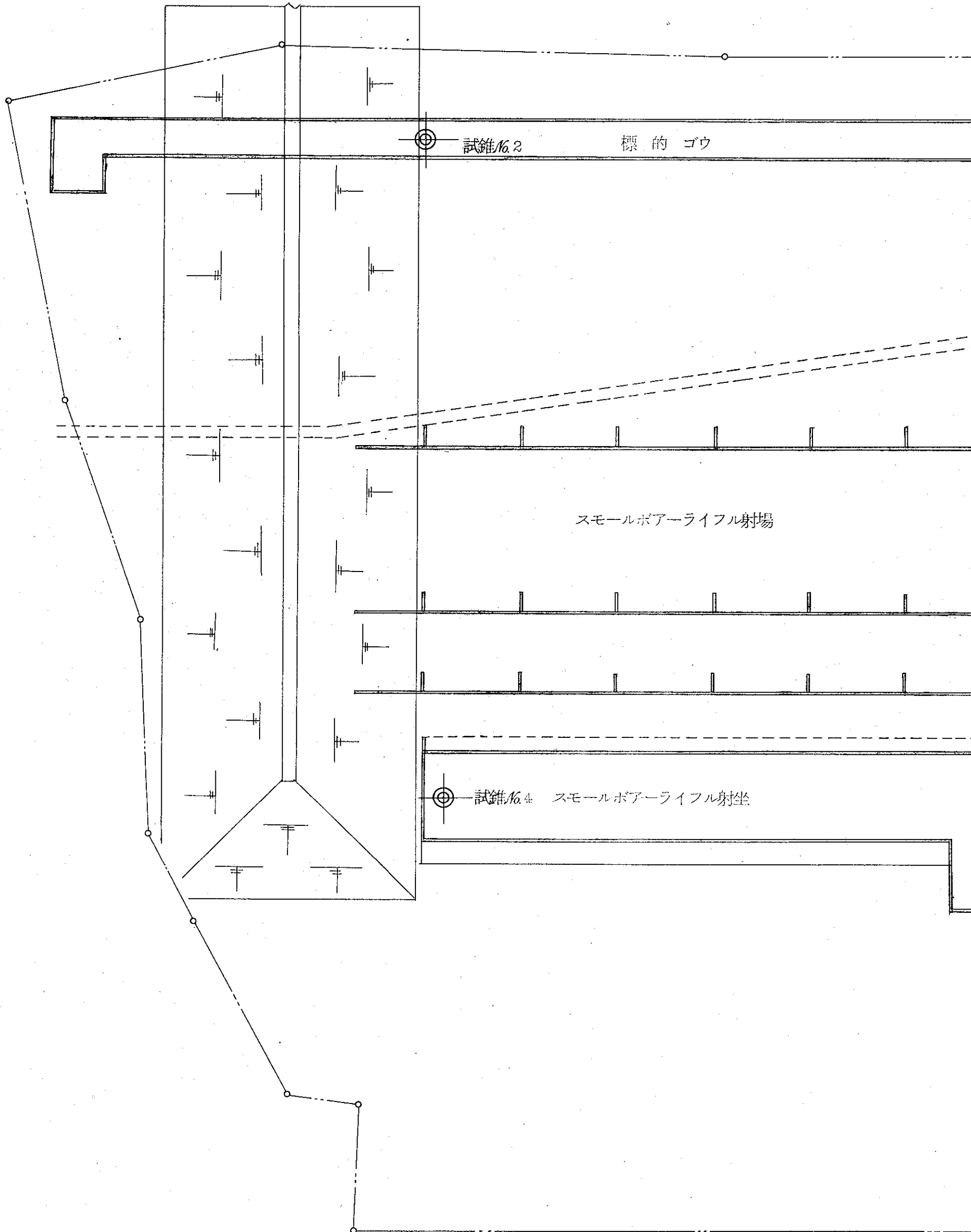


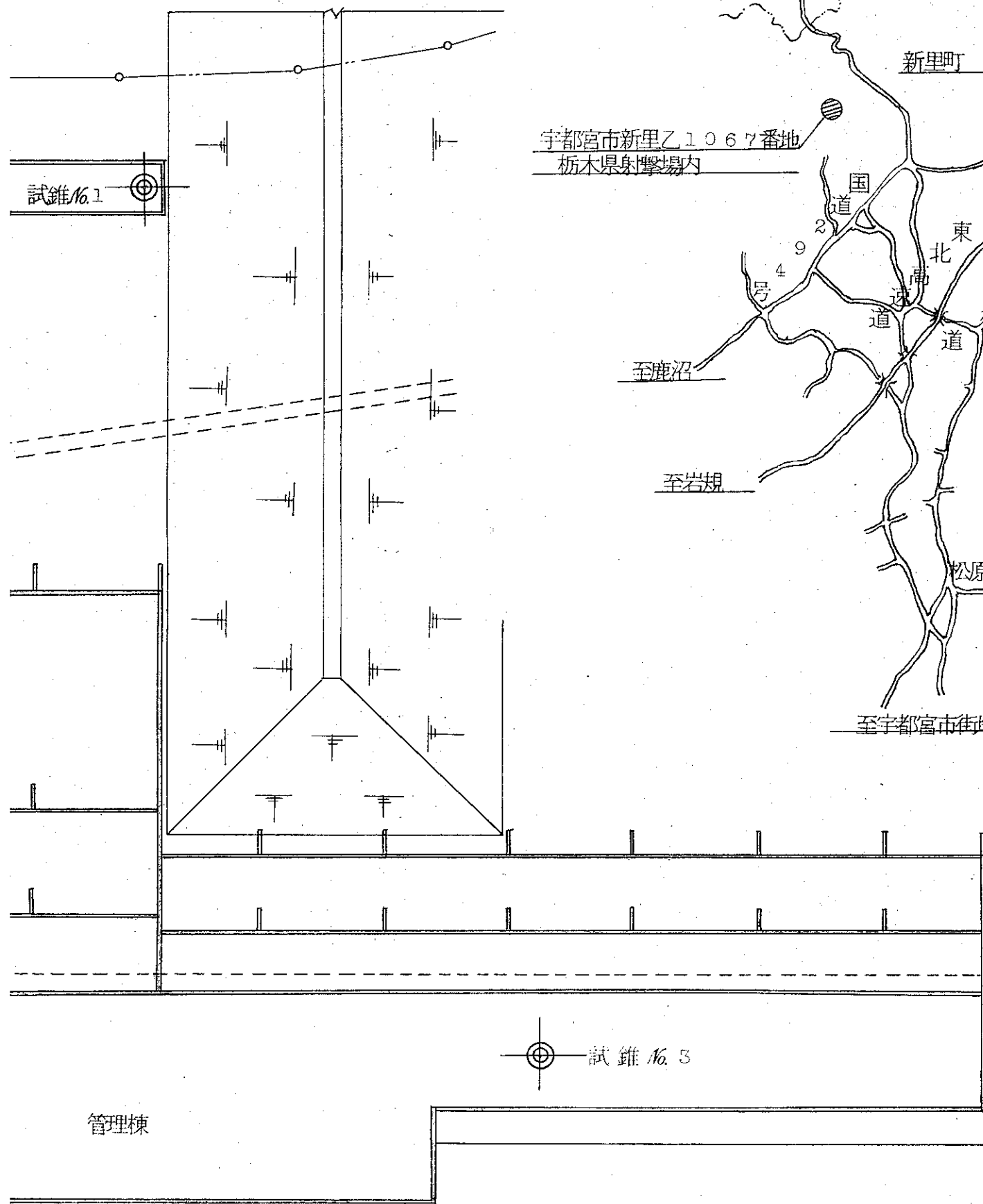




地質調査位置図 S = 1 : 300

◎ ボーリング地点





宇都宮市新里乙1967番地  
栃木県射撃場内

